

一般社団法人宮城県警備業協会

会長 氏家 仁 殿

宮城労働局労働基準部

健康安全課長

警備業における労働災害防止の取組について（協力依頼）

平素より労働安全衛生行政につきましては、格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

県内における本年の警備業の労働災害につきましては、11月末現在、死傷者数（休業4日以上。以下同じ）は昨年と比較して85.7%の大幅増加となっており、事故の型からは、依然として、転倒がその大半を占め、大変憂慮すべき事態にあるところです。

特に、警備業におかれては、例年、1月及び2月における労働災害発生件数が非常に多いところであり、また、本格的な冬を迎え、寒冷となるのみならず、記録的な降雪・積雪に見舞われている地域もあり、その作業条件はますます厳しくなることから、労働災害の増加、特に、凍結した床面での転倒、咄嗟の動作による腰痛に加え、安全作業手順の省略による重篤な災害の発生が懸念されます。

御案内のとおり、現在、宮城労働局におきましては、12月1日から来年1月31日までの期間について、「宮城における年末・年始労働災害防止強化運動」を展開し、事業者及び働く皆様に一層の安全衛生意識をお持ちいただくとともに、安心して安全・健康に仕事をする事ができるよう、現場の総点検、管理体制・具体的措置の確立・充実をお願いしているところです。

つきましては、貴職におかれましては、上記趣旨に御理解いただき、傘下会員企業の皆様に対し、働く方々の命と健康を守るため、一層の取組を図られ、警備業に携わるすべての皆様が笑顔で明るい年末・年始をお迎えいただけるよう働きかけのほどよろしくお願い申し上げます。